市議会だより はまだ

成人の門出を祝福

Vol.36
平成27年(2015年)2月1日発行

浜田自治区

金城自治区

旭自治区

弥栄自治区

三隅自治区

12月定例会　主な記事

21人の議員が論戦（個人一般質問）… 6
政務活動費について…… 13
議会からのお知らせ…… 14

発行・浜田市議会
編集：議会広報広聴委員会
〒697-8501　島根県浜田市殿町1番地 TEL（0855）25-9800 FAX（0855）22-6765

平成26年12月定例会

平成26年12月浜田市議会定例会が11月28日に招集され、12月16日までの19日間の会期で開かれました。
今定例会で提出された議案は、市長から提出された議案が44件、陳情が1件でした。
審査の様子は、2ページから4ページに、採決の結果は5ページに掲載しています。
また、個人一般質問には、21人が立ちました。論戦の様子は6ページから掲載しています。

室内プールの管理は次回から公募を検討！

― 総務文教委員会 ―

総務文教委員会に付託された同意3件、議案6件及び陳情1件について審査を行いました。

今回、特に賛否が分かれ質疑が集中した議案は、追加提案された人事院勧告による職員の給与を今年度0.3%引き上げる**「浜田市職員の給与の支給に関する条例の一部を改正する条例について」**でした。執行部からは、この提案は来年度から2%削減の見直しを実施することを条件に職員組合側と合意している事情など、詳細な説明がありました。委員からは財政的な問題を理由に自治区を廃止したいとの市長の説明があったばかりであり、同時期に職員給与の引き上げは住民感情としては受け入れがたい厳しいものがあるのではないかとの質疑がありました。執行部からは、今回の引き上げは交付税単価の引き上げもあり、全てが市税からということにはならず、職員のモチベーション維持の観点からもぜひご理解いただきたいなどの答弁がありました。この議案の採決では賛成が1人多く、賛成多数となりました。

市が買い取り運営をすることになった、浜田市室内プールの指定管理者を指名提案する**「指定管理者の指定について（浜田市室内プール）」**では、委員から、この施設は修繕費が多額になるので市が買い取り負担をすることになっているが、現法人に指名する流れに違和感を感じる。市が買い取り、指定管理に出すのなら、教育委員会として施設の運営方針を持つことが大事だ。今後もこの法人に指名していくのか、などの質疑があり、これまでの実績や保護者の継続してほしいとの声もある。次回からは公募を検討したいなどの答弁がありました。

浜田室内プール

採決の結果、議案4件は賛成多数で、他の議案2件と同意3件は全会一致で可決すべきものと決しました。

また、測量設計の市内業者が優先に選定できるよう指名基準等の改定を求める**「浜田市建設工事指名競争入札参加者指名基準等の改定について」**の陳情審査では、代表を参考人として招致しました。市の現状や陳情に至った経緯の説明を受けた後、審査、採決を行い、同様の陳情が出ていた市側の回答より踏み込み、全会一致で採択しました。

医療費助成は中学3年生まで拡大

― 福祉環境委員会 ―

福祉環境委員会では付託された議案6件について審査を行いました。

浜田市乳幼児等医療費助成条例の一部を改正する条例は、市独自の事業として医療費の助成対象者の拡大、児童福祉法の一部改正及び難病の患者に対する医療等に関する法律の制定に伴い、所要の改正を行うものです。

委員からは、対象が中学3年生まで拡大されることに伴う市負担額の見込み額、市及び被保険者負担額の増減、中学3年生まで拡大する県内8市の状況などの質疑がありました。採決の結果、全会一致で可決すべきものと決しました。

保育園生活発表会

浜田市国民健康保険条例の一部を改正する条例は、健康保険法施行令の改正に伴い、産科医療補償制度の掛金額の見直し、出産育児一時金の総額を42万円に維持することにより、所要の改正を行うものです。

委員からは、出産費用は42万円で賄えるのか、土日深夜の場合の最高額、産科医療保障制度の仕組みについて、などの質疑がありました。採決の結果、全会一致で可決すべきものと決しました。

浜田市火葬場、旭火葬場、弥栄火葬場及び三隅火葬場の指定管理者の指定では、すべての火葬場が指名となっているが参

加希望事業者はなかったのか、指名に当たっての実績と評価の状況、指定管理料が引き上げられている理由などの質疑がありました。

執行部から、他に参加を希望する事業者はない、年1回指定事業者のモニタリング及び全体評価を行い適正か否かを判断する、指定管理料の引き上げは消費税引き上げによるもの、との答弁がありました。採決の結果、全会一致で可決すべきものと決しました。

浜田三隅火葬場

農園施設、指定管理施設の将来的なあり方を議論！

― 産業建設委員会 ―

産業建設委員会に付託された、議案13件について審査を行いました。

「浜田市地域集会施設等条例の一部を改正する条例」について、集会所がなくなったら地元はどうされるのかとの質疑に、今の施設を市が解体後、地元で新たな集会所を建築される予定であるとの答弁がありました。

「浜田市体験農園施設条例を廃止する条例」については、現在の指定管理のままでもよいのではないかとの質疑に、施設の老朽化もあり改修が必要であるが、現在の指定管理者から、譲渡してもらい自ら改修して使用したいとの要望があったため、施設の有効活用のために譲渡の方が良いと判断したとの答弁がありました。

「指定管理者の指定」（浜田市都川交流促進施設、浜田市天狗石農村公園、浜田市農畜産物加工施設、浜田市農産物集出荷貯蔵施設、浜田市地域資源循環活用施設）の議案5件全体について、継続施設は指定期間5年という考えもあると認識していたが、今回は指定期間が全て3年になっているのはなぜかとの質疑があり、将来的には譲渡という話をしているとか、地元で活用してもらいたいと考えている施設については指定期間を3年とさせてもらっているとの答弁がありました。

その内で、都川交流促進施設については、指定管理料を支払っていないが、運営はどうしているのかとの質疑があり、利用料と繰越金で施設管理費用が賄えているので指定管理料が発生していないとの答弁がありました。**「財産の無償譲渡」（浜田市体験農園施設）**については、施設改修費へ補助の考えおよび土地の処理について質疑があり、施設改修費への補助は考えていないこと、土地については3年以内に購入したいとの譲受人の希望があり、それまでは有償貸付する予定であるとの答弁がありました。

採決の結果、それぞれ全会一致で可決すべきものと決しました。

体験農園施設

給与改定補正と新自治区予算で議論！

― 予算決算委員会 ―

予算決算委員会には平成26年度一般会計および特別会計、工業用水道会計の補正予算議案3件と、平成26年度一般会計、各特別会計および水道・工業用水道会計の給与にかかる補正予算議案9件について、審議しました。

12月11日の委員会の冒頭で、市長から給与改定に伴う人件費等の調整に係る補正予算に関し、組合との交渉経緯や給与制度の総合的見直しについて説明を受けた後、審査を行い、延べ21件の質疑があったところです。

一般会計補正予算（第5号）では新規事業の赤潮被害緊急対策事業及び雇用創出拠点施設整備事業について質疑が集中しました。

赤潮被害緊急対策事業については、被害額を問う質疑や、助成実施にあたり明確な条件があるのかという質疑があり、被害額の算定は困難であるが、水揚げ量は昨年比で70パーセントの減となっている。助成条件については今後検討していきたいとの答弁がありました。

雇用創出拠点施設整備事業については、全市的な廃校利用はどう考えているかという質疑があり、今回、企業側から後野・佐野小学校跡地の利活用について相談を受け改修に踏み切った。雇用の場の拡大という取組のなかに公共施設の利活用の検討もあがっており、学校に限らず利活用について調査研究している。今後も全市的な考えで取組むとの答弁がありました。

また、公民館と併用するのであれば、地元と十分協議してから改修すべきとの指摘もあったところです。

採決の結果、全会一致で可決すべきものと決しました。

特別会計、工業用水道事業会計補正予算についても、全会一致で可決すべきものと決しました。

次に、給与改定に係る補正予算関係の審査では、財源確保が困難との理由で自治区制度を見直そうとしている時期に職員給与を増額すれば、将来的にはコストダウンになるとはいえ、市民感情

として納得しづらいと考えるが執行部はどう対応するのか、との質疑もありました。

執行部からは、浜田市を活性化していくうえで、人件費に限らずいろいろな施策を総合的に勘案していくことが必要であり、市民には、給与制度の総合的見直しも含めご理解いただくように努める、との答弁がありました。

採決の結果、賛成多数（賛成15、反対7）で可決すべきものと決しました。

予算決算委員会での採決の様子

平成26年12月議会の主な可決事業と報告事項

赤潮被害の漁場の再生に支援！

（新規）“赤潮被害緊急対策事業”

－平成26年9月に発生した赤潮により
アワビ・サザエの被害－
生産の早期回復と漁業経営の安定を図る

○内容・稚貝を購入して放流
・国府地区
・JFしまね浜田支所が実施
○予算額　26年単年度
79万9千円（一般財源）

有効活用！ 旧後野小と旧佐野小

廃校を改修し、企業誘致等の雇用を図る

（新規）“雇用創出拠点整備事業”

－遊休資産活用と使用料収入増加を見込む－

○内容　設計委託料と消防設備改修工事費
○予算額　26年度　1,230万円　（特例債）
156万9千円（一般財源）
27年度　810万円　（特例債）

閉校後の校舎等の取扱い

（1）上府小学校
保育施設が29年4月に開設予定
※27年度から校舎解体と敷地整備
（2）（現）国府小学校
27年1月～3月校舎解体
（3）有福小学校
地元から公民館分館の移転要望あり

新国府小学校の今後のスケジュール

学校開校・式典関係
・供用開始　27年1月8日
・開校式　27年4月初旬
・閉校式
国府小学校　27年3月21日（土）
上府小学校　27年3月22日（日）
有福小学校　27年3月22日（日）

陳情審査経過及び結果 平成26年12月定例会審査分

区分	陳情の内容	提出者	審査した経過と結果
陳情	浜田市建設工事指名競争入札参加者基準等の改定について	浜田市測量設計業協議会 会長 笠柄正道 様 ほか２名	総務文教委員会 （ 採 択 ）

平成26年12月定例会での議案等の賛否の公開について（本会議）

承認第　2号	専決処分の承認について（平成26年度浜田市一般会計補正予算第４号）	賛成 23　反対 0
議案第 79号	浜田市いじめ防止対策推進条例の制定について　反対:森谷	賛成 22　反対 1
議案第 80号	浜田市福祉医療費助成条例の一部を改正する条例について	賛成 23　反対 0
議案第 81号	浜田市乳幼児等医療費助成条例の一部を改正する条例について	賛成 23　反対 0
議案第 82号	浜田市国民健康保険条例の一部を改正する条例について	賛成 23　反対 0
議案第 83号	浜田市地域集会施設等条例の一部を改正する条例について	賛成 23　反対 0
議案第 84号	浜田市体験農園施設条例を廃止する条例について	賛成 23　反対 0
議案第 85号	浜田市営住宅条例の一部を改正する条例について	賛成 23　反対 0
議案第 86号	浜田市一般市営住宅条例の一部を改正する条例について	賛成 23　反対 0
議案第 87号	浜田市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例について	賛成 23　反対 0
議案第 88号	指定管理者の指定について（浜田市室内プール）　反対:岡野、森谷	賛成 21　反対 2
議案第 89号	指定管理者の指定について（浜田市火葬場）	賛成 23　反対 0
議案第 90号	指定管理者の指定について（浜田市旭火葬場）	賛成 23　反対 0
議案第 91号	指定管理者の指定について（浜田市弥栄火葬場）	賛成 23　反対 0
議案第 92号	指定管理者の指定について（浜田市三隅火葬場）	賛成 23　反対 0
議案第 93号	指定管理者の指定について（浜田市都川交流促進施設）	賛成 23　反対 0
議案第 94号	指定管理者の指定について（浜田市天狗石農村公園）	賛成 23　反対 0
議案第 95号	指定管理者の指定について（浜田市農畜産物加工施設）	賛成 23　反対 0
議案第 96号	指定管理者の指定について（浜田市農産物集出荷貯蔵施設）	賛成 23　反対 0
議案第 97号	指定管理者の指定について（浜田市地域資源循環活用施設）	賛成 23　反対 0
議案第 98号	財産の取得について（浜田市拠点農業団地）　反対:森谷	賛成 22　反対 1
議案第 99号	財産の取得について（スクールバス）	賛成 23　反対 0
議案第100号	財産の無償譲渡について（浜田市体験農園施設）	賛成 23　反対 0
議案第101号	工事請負契約の締結について（仮称）旭統合小学校屋内運動場建設に伴う建築主体工事）	賛成 23　反対 0
議案第102号	市道路線の廃止について（浜田280号線）	賛成 23　反対 0
議案第103号	市道路線の認定について（浜田280号線外）	賛成 23　反対 0
議案第104号	浜田市過疎地域自立促進計画の変更について	賛成 23　反対 0
議案第105号	平成26年度浜田市一般会計補正予算（第５号）	賛成 23　反対 0
議案第106号	平成26年度浜田市後期高齢者医療特別会計補正予算（第１号）	賛成 23　反対 0
議案第107号	平成26年度浜田市工業用水道事業会計補正予算（第１号）	賛成 23　反対 0
議案第108号	浜田市職員の給与の支給に関する条例の一部を改正する条例について 反対：足立、串崎、森谷、上野、飛野、岡本、田畑、平石、澁谷	賛成 14　反対 9
議案第109号	平成26年度浜田市一般会計補正予算（第６号）	賛成 16 反対 7 足立、森谷、上野、飛野、田畑、平石、澁谷
議案第110号	平成26年度浜田市国民健康保険特別会計補正予算（第２号）	
議案第111号	平成26年度浜田市駐車場事業特別会計補正予算（第２号）	
議案第112号	平成26年度浜田市公共下水道事業特別会計補正予算（第１号）	
議案第113号	平成26年度浜田市農業集落排水事業特別会計補正予算（第１号）	
議案第114号	平成26年度浜田市簡易水道事業特別会計補正予算（第１号）	
議案第115号	平成26年度浜田市後期高齢者医療特別会計補正予算（第２号）	
議案第116号	平成26年度浜田市水道事業会計補正予算（第１号）	
議案第117号	平成26年度浜田市工業用水道事業会計補正予算（第２号）	
同意第 10号	人権擁護委員候補者の推薦について	賛成 23　反対 0
同意第 11号	人権擁護委員候補者の推薦について	賛成 23　反対 0
同意第 12号	人権擁護委員候補者の推薦について	賛成 23　反対 0
推薦第　1号	浜田市農業委員会委員の推薦について（串崎議員は被推薦者のため除席）	賛成 22　反対 0

詳細については市議会HPをご覧ください。

大きな方向を示された新自治区制度とは？

布施 賢司 議員

質問 地域を理解し地域を活かしたまちづくりの代弁者である自治区長を廃止して、旧那賀郡担当の副市長、1名を設けるのは何を期待し望むのか。

市長 しっかり、各自治区の声を聴いて私に伝える「橋渡し役」と、各地域協議会や行事の出席など地域の状況を把握しながら活動し、現状を踏まえた自治区間の調整役として活躍してもらいたい。

質問 地域協議会委員15人の根拠はあるのか。

地域政策部長 委員選出の地区割りを考慮し、各自治区15人以内としたい。

質問 自治区制度の根幹である、地区まちづくり推進委員会の設立にむけて、浜田自治区の取組は。

地域政策部長 テーマ型の地域コミュニティ（防災や見守り）で、新たな組織枠組みが実現するよう、今後検討する次期まちづくり総合交付金制度のなかで、地域が取組やすいものを十分検討したい。

質問 広域で観光列車運行提案にいたる思いとは。

市長 食事付観光列車を提案し、地域資源を活かして交流人口を拡大する。

質問 広浜鉄道・今福線の魅力と地域との協力は。

産業経済部長 歴史的価値と土木構造物的価値が魅力。地元沿線と協力関係を築いて事業に取組む。

答 今後の厳しい財政見通しを勘案し、熟慮した

幻の広浜鉄道 今福線
「遺構を観にいこうよ！」

自治区制度を変えるなら基本条例を示すべき

江角 敏和 議員

質問 合併協議で、自治区制度の検証を巡る会長見解は、「…この制度を10年以上定着させるためにも、基本5項目の実施に万全を期する…」と、まとめられた。浜田那賀方式を変えるのなら、この制度を凌駕するような条例を示すべきだった。その「自治基本条例」制定の考えを問う。

市長 浜田那賀方式から移行する「新自治区制度」を廃止するまでに何らかの方針を示したい。

質問 公民館単位に組織されている「まちづくり推進委員会」の活動は、これから益々重要になる。自治区制度の見直し・廃止を示されるのなら、この推進委員会活動の今日的な指針等も示すべきだった。その考えを問う。

地域政策部長 27年度中に、交付金制度の見直しに併せ、今後の仕組みづくりや、進め方について示したい。

質問 現行の総合振興計画の積み残し分は、次期計画に反映されるのか。

地域政策部長 延伸しているものや、未着手等の事業で必要なものは、組み込んでいくことになる。

質問 自治区制度に対する意見は、「まだ聞く」ということで良いか。

地域政策部長 まだ意見をいただく期間はある。

答 新自治区制度廃止までに何らかの方針を示す

公聴会で多くの市民から
意見が出される

中学校野球部の合同チームが必要だが？

笹田 卓 議員

質問 少年野球人口の減少に伴い、近い将来、中学校の野球部が立ち行かなくなる。現在、4人で活動している中学校もある。合同チームを視野に入れた方針が必要だが？

教育長 中体連の野球担当部と連携し、取組む。

中学校運動部活動の
合同チームを！

質問 観光案内標識が少なく、全く魅力がない。もっと魅力あるものに変えるつもりはないか？

市長 観光コースを設定し、ホームページ、案内標識を充実させる。

質問 徳島県阿南市では、野球を観光資源と捉え、「野球のまち推進課」を設置し、観光施策を行っている。高齢者が行える、何かのスポーツに特化し、観光施策を行うつもりはないか？

産業経済部長 スポーツを観光資源と捉えることは、非常に重要なことと認識している。

答 中体連と連携し、取組む

野球を観光資源とする阿南市

副市長1名で旧自治区を守れるのか？

上野　茂　議員

答 地域の声を伝える「橋渡し役」と「調整役」

質問 再犯防止に向けて、国も力を入れている。市として促進センターと連携し「民設民営の全就労型中間施設」を誘致する考えはないのか。

産業経済部長 中間施設で生活をしながら社会に慣れていくことは再犯率低下に向けて重要な要素と認識している。地元の理解を得たうえで国、県、センターと関係強化しながら慎重に協議する。

島根あさひ社会復帰促進センター

質問 市長の示された新自治区制度について、旧那賀郡担当副市長1名は、本庁にいて仕事ができるのか。

市長 個性ある「まちづくり」を進めるためにも各地域協議会や行事に出向く、市長への「橋渡し役」として活動する。

質問 地域協議会は現行のとおりで機能するのか。また、これまでの9年間で人づくりができたのか。

地域政策部長 廃止までに将来的なまちづくりの基盤を作る。

質問 まちづくり総合交付金は必要なところへ選択と集中で交付すべきと考えるが。

地域政策部長 現行制度の検証を行い、積極的に活動しているところへ配慮する。地域の実情や課題に応じた支援制度になるよう27年度見直し、28年度から実施を検討する。

自治法に基づかない自治区制度とは？

田畑　敬二　議員

答 旧那賀郡担当の副市長を配置する

質問 制度の名称は新自治区制度とし、自治法に基づかない独自の制度とするとあるが、従前との違いは何か。

地域政策部長 自治区長は廃止し、旧那賀郡担当の副市長を配置し、自治区予算は地域振興基金を統合して、中山間地域の活性化のために活用する。

質問 浜田自治区における地域協議会の意識が低調なのは浜田自治区長をはじめとする執行部の責任ではないか。

地域政策部長 浜田自治区では認知度が低調な状況にある。今後は、地域協議会の役割などを周知し、新自治区制度においても現行制度の仕組みが継続できるよう努める。

質問 指揮命令系統や人事管理を明確にし、消防力を強化するために、三隅出張所・弥栄出張所を西部消防署、金城出張所・旭出張所を東部消防署と位置づけ、管理職の署長を配置するとのことであるが、消防力の強化になるのか問う。

消防長 出張所は昼夜3名体制で、救急等の業務に対応している。東部、西部に、2出張所を消防署と位置づけ管理的な立場にある職員を配置し、初動時から状況把握ができ、明確な、指揮、命令のもと現場が統括できる。

自治区崩壊で守れるか？
地域の文化である室谷の棚田

今後の高齢者のごみ排出の対応は

佐々木　豊治　議員

答 共助の視点や民間業者活用の取組を検討する

質問 中山間地域のごみステーションまでのごみ出しについては、世帯数も少ないため遠方まで出向かなくてはならず、今後、高齢化の進展とともにごみ出しの環境がますますきびしい状況となると思うが、対応を問う。

市民環境部長 各自治区において市民のみなさんがごみステーションまでごみが出せているか実態を調べ、うまく出せていない場合は対応を考えたい。

質問 県内他市においては各家庭の玄関先まで収集に来る自治体もあるが、戸別収集のあり方や、少量でも民間業者に安価にごみを取りにきてもらえる制度などを検討すべきではないか問う。

市民環境部長 今後の戸別収集の対象者は増加すると思うが、それを担う職員は減少するので、民間委託等での対応も含め柔軟に検討していきたい。また、高齢者のごみ排出を支援するサービスは、まちづくりの共助の視点で取組む方法と、少量のごみでも民間業者を活用する取組の両方から検討する必要があると思う。

その他の質問

○地域おこし協力隊の取組について

○公共施設の更新問題について

中山間地域のごみステーション

校長がいじめをしているのに、防げるのか？

森谷 公昭 議員

答 校長がいじめをすることはありえない

質問 校舎の古い新しい、成績の良い悪いが、生徒児童の人生にどのように影響するのか。

教育部長 直接人生に影響を与えるものではない。

質問 校長がプライベートでいじめをしているのに、「いじめ防止基本条例」を作ることで、生徒のいじめ防止が可能か。

教育部長 事実なら悩ましいことだが、校長がいじめをすることは、ありえない。

質問 まちづくりについて、町内会等の機能も合わせて見直してはどうか。

地域政策部長 まちづくり総合給付金制度を見直すときに検討したい。

質問 議会中継をユーチューブにアップされた件について、浜田市のその後の対応はどうなっているか。

総務部長 浜田警察署に告訴状を提出した。

質問 浜田市のホームページでなぜフェイスブック、ツイッター等を使わないか。

総務部長 業務や人件費が増えるが検討する。

質問 旧久佐小の校舎は、地元の老人福祉施設に内定しているような制限は外し、広島市場開拓室の力で、県外からも誘致すべきではないか。

産業経済部長 広島企業の誘致を頑張りたい。

議会中継アップの件
氏名不明で告訴した

人口減少問題は達成数値目標を掲げるべきだ

飛野 弘二 議員

答 国の動向を注視し対応する

質問 国の「まち・ひと・しごと創生本部」で人口減少問題を克服するため、予算のバラマキではなく知恵と工夫度に対し優遇するとしているが、市として具体的に問題解決する達成数値目標を定めた戦略づくりが重要と考えるが所見を問う。

市長 浜田市の最大の課題は人口減少問題である。達成数値目標を設定しても現時点では難しい面もあるので今後国の動向を注視し、慎重に対応する。

質問 石州半紙ユネスコ再登録に当たり、全国向けになお一層定期的ＰＲ活動を展開する必要があると思うが所見を問う。

三隅支所長 関係団体・関係機関と連携し、ＰＲ活動を推進する。

質問 鳥獣被害状況と利活用状況を問う。

産業経済部長 特に猪害が多い。今年度の捕獲数は千頭を超える見込みで被害額も昨年の８００万円をこえる見込み。利活用も特産品を目指す。

その他の質問

○チームＣｏＣｏＣａＬａレポートについて

○子育て世帯負担軽減策の取組と必要性

○未婚・晩婚化対策を強力に取組む必要性

○結婚支援センター誘致について

○婚活イベントについて

石州判紙の原料である「楮」生産圃場

敬老乗車券の交付地域を拡大する考えは？

澁谷 幹雄 議員

答 試行の結果を見て、検討する

質問 敬老乗車券交付事業に対して不公平であるという苦情があるが、今後の交付地域の拡大は？

地域政策部長 試行中なので結果を見て検討する。

質問 今年、消費税が８％、国民健康保険料が大幅アップ、円安で輸入物価の高騰や重油の高止まり、米の概算金の大幅下落、漁に出ても米を作っても赤字、年金も減って浜田市民は悲鳴をあげている。目配りが足りないのではないか？

産業経済部長 地域経済の活性化をはかり、市民福祉の向上に努める。

質問 「巨大な過保護」状態の浜田市役所を活性化し成果をあげるには、人事評価制度の早期確立が必要ではないか？

総務部長 平成28年までの導入が義務なので、給与や昇任に対し人事評価が反映するよう検討する。

質問 ふるさとを愛する地元教員の採用拡大は？

教育長 ふるさと教育を推進するためには、地元出身者の存在は大きい。

質問 親から子へ、子から孫へと続く「貧困の連鎖」を断ち切るのは教育しかないと指摘されているが、その対応策は？

教育部長 就学援助制度を適用し、教育環境の改善に向けて健康福祉部と連携し支援する。

新校舎完成の国府小学校―これで、浜田市の「危険校舎」はゼロになりました！

浜田の特性、自治区制度を育てられないか！

西田　清久　議員

答 自治区制度によらないまちづくりを考えたい

質問 今後の自治区制度についての方針では平成33年度からの国の合併特例債や交付税などの優遇措置に沿ったかたちで「廃止」と示された。この中身で市長はどの程度納得されているのか問う。

市長 財政状況が許せば、現行の自治区制度を存続していきたいが、国からの優遇措置が廃止になることも踏まえ、本市の財政状況を総合的に勘案し、将来的には、なくさざるを得ない苦渋の決断だと思っている。

質問 これまでの自治区制度のプラス、マイナスの成果を各自治区長、支所長、地域協議会等できちんと検証しなければならないと考えるが問う。

市長 公聴会等で成果と課題については話した。自治区制度は個性あるまちづくりをするには良い制度と思うが、財政的裏付けが必要と考える。

質問 新自治区制度が今後発展的に育っていった場合の考えを問う。

市長 何事も終わりを決めてやり遂げることが重要、それまでに自治区制度によらないまちづくりをみんなで考えたい。

その他の質問

○学生の消防団入団制度

○瀬戸ヶ島埋め立て地の活用策の考え方

○建設工事指名競争入札

まちづくりは地域の個性づくり

石見共栄圏の構築と地域創生の取組は？

岡本　正友　議員

答 石見地域振興のため各首長と連携を図る

質問 人口減少からも誘致企業の労働力確保へ石見全域の広域連携を図る必要があると思うが。

市長 交通網の整備から石見全域が通勤圏内となる。立地企業は雇用の拡大につながり石見地域の振興のため各首長と連携して取組んでいく。

質問 県立高校統合再編成において定住が期待できる職業系の専門学科とUターンができる進学系の学科との再編には熟慮が必要と考える。越境入学枠を広げる方策などを提案しながら学校の魅力づくり・めざすものなど定住を意識し、要望には広域的多方面に意見を求めていく必要があると考えるが所見を問う。

総務部長 市内の高校の統合には、非常に慎重な判断が求められていると認識。魅力ある高校・若者の定住など様々な角度とより広く意見を聞き、江津市、益田市などの状況も把握し、検討したい。

質問 石見圏域が一体的に発展していくための指針となる振興ビジョンについて所見を問う。

市長 他の自治体や事業体と連携を図ることは大変重要と考える。市長になる以前より、石見の発展には、アイデアを競い合って創る「競創」と連携が必要と考えている。

魅力ある高校再編成に

教育バウチャー制度の導入は？

岡野　克俊　議員

答 現在のところ考えていない

質問 教育バウチャー（クーポン券）制度の概要と所見について問う。

教育部長 大阪市内で行われている学校外教育バウチャー制度は、家庭の経済状況が子どもの学習環境に影響を与えることなく、子どもが学力や学習意欲を向上させるため、またスポーツや習い事などの個性や才能を伸ばすために月間1万円の「塾代助成カード」を交付する施策である。このメリットとしては家庭の経済状況に左右されず、学校外教育を受ける機会を与えられる点であり、デメリットとしては幅広い参入事業者の確保、システム開発や事務量の多さ、3千万円程度の財政支出が挙げられる。

質問 教育格差問題は家庭の貧困と密接に関連しているが、浜田市の取組について問う。

教部育長 子育て世帯の経済的援助の観点では要保護・準要保護制度による就学支援を基本とし、また本年より教育委員会が行っている「土曜学習支援事業」や県大の協力による「学習支援派遣事業」等を充実させたいと考える。

その他の質問

○中央図書館の改修工事の是非について

大阪市塾代助成カード

CoCoCaLaの提案で女性雇用の充実を

柳楽 真智子 議員

答 女性が住みたいと思える元気な浜田をつくる

質問 地方創生・人口減少問題では、女性の力が大切だと言われているが、女性の職場環境は恵まれているとは言えない。女性職員で結成されたチームCoCoCaLaの提案の中にも子育てと仕事の両立について、問題点や解決策などがあげられた。すぐにでも導入してほしい内容だが、今後どのように検討し、実現するのか問う。

市長 女性が住みたくなるまちづくりのための、提案を受けたところである。新年度予算に反映できるよう、各部署に検討を指示している。

質問 胃がんリスク検診は、血液検査で胃がんの原因とされるヘリコバクターピロリの感染や、胃の粘膜の萎縮度を調べ、胃がんの早期発見・予防に繋がる。9月から大田市でも、40歳以上の方を対象に公費助成の検診が始められた。浜田市での導入について問う。

健康福祉部長 検査結果が陽性の方に必要となる、胃カメラ検査に関わるマンパワーの確保が必要であるとの声もある。市内医療機関の専門医との協議の場を持つなど、引き続き限られた医療資源を有効に活用し、胃がん検診のあり方を検討する。

血液検査の様子

瀬戸ヶ島地区埋立地活用事業の中止はあるか

西村 健 議員

答 縮小、延期はあるが、中止は考えていない

質問 「元気な浜田」枠の全体事業費および主な事業名、事業費を問う。

財務部長 主な事業として瀬戸ヶ島地区埋立地活性化事業、浜田歴史館整備事業、浜田駅周辺県境整備事業などがあるが、瀬戸ヶ島地区の事業費はお示しできない。

質問 浜田地域の観光施設の集客状況を問う。

産業経済部長 平成25年の入込客数は、23年との比較で1・9～20％程度減少している。

質問 そういう状況の中で、「瀬戸ヶ島埋立地活用研究会」の第4回資料によれば、期待される役割として「観光資源をつなぎ、滞在型観光へ転換する『装置』の整備」とあるが、既存の観光施設にとっては、「つなぐ」メリットより「競合する」デメリットの方が大きいと考えるがどうか。

地域政策部長 新たな拠点を整備することで、浜田市での宿泊や複数施設への訪問につながる波及効果を生み出したい。

質問 今後、本計画の中止の可能性はあるのか。

地域政策部長 投資する企業が少ない、国の承認や県の占用許可が得られない、建築資材の高騰などの課題が生じた場合、縮小・延期はあり得るが、中止は考えていない。

空き地が広がる瀬戸ヶ島地区埋立地

どうする総合的な観光戦略は！

牛尾 昭 議員

答 積極的に取組みたい

質問 保養センターの今後は、どうなるのか問う。

自治区長 当面は、旅館組合に委託し入浴客は維持したい。

質問 美肌県日本一や美人湯をキーワードとした女性専用温泉として再スタートしてはどうか問う。

自治区長 来年度上期には方向づけをしたい。

質問 歴史を活かした観光施策を問う。

教育長 自焼退城150年の文化講演は、検討したい。

産業経済部長 開府400年の実行委員会は、各地と相談し、来年立ち上げたい。

質問 モノづくりを活かした産業観光の取組で、石州半紙や明治から昭和30年代まで、日本中はおろか近隣まで席捲した石見焼の登り窯や広浜鉄道を地域ストーリーとして検討してはどうか問う。

産業経済部長 是非、検討し取組みたい。

質問 グリーンツーリズム支援の職員配置を問う。

産業経済部長 新年度配置を検討したい。

質問 プライドフィッシュに認定されたのどぐろを含め山陰浜田港PR大使をテニスの錦織さんにお願いしてはどうか問う。

市長 受けてもらえれば嬉しいが、多忙で会えない。チャンスを待ちたい。

浜田城中門跡

財政縮減のなか 地域活性の手綱をゆるめるな

道下 文男 議員

答 地域特性を活かした まちづくりを推進する

質問 市町村合併による優遇財政措置の期限が迫るなか、このほど自治区制度の見直しが提案された。財政事情は理解するものの、中山間地域の活性なくして市の発展はなく、費用対効果をこれまで以上に精査し、各自治区の個性あるまちづくりを進める必要があるが、市の考えを問う。

地域政策部長 中山間地域の活性は、市の重要施策と考え、新制度においてもソフト・ハードの両面で人づくり、まちづくりを支援し、地域の個性ある発展へつながるように取組む。

質問 いじめ・暴力行為・不登校が全国的に増えている状況がある。次代を担う浜田っ子の健全育成を最重要施策の一つに置き、そのための財政投資を進める必要があるが市の考えを問う。

教育部長 いじめ・不登校問題等に積極的に対応するため、浜田市いじめ防止対策推進条例を作成した。また、元気な浜田枠の一つとして学力向上総合対策事業を開始し、浜田っ子のさらなる健全育成が進むよう取組む。

その他の質問
○美又温泉の活性化策
○自主防災組織の育成

地域活性の手綱をゆるめるな!

交流人口増に向け 観光PR商品の開発を

芦谷 英夫 議員

答 観光PRと 観光コースを検討する

質問 美肌県日本一、泉質自慢の温泉、コラーゲン一杯の魚などを組み合わせ、女性をターゲットとする観光商品の開発について問う。

産業経済部長 良質な温泉、金城の華、コラーゲンのアンコウ鍋、芙蓉ポーク鍋など女性向け観光コースを検討したい。

質問 ふるさと納税を応援団に結びつけ、ふるさとメール、特別市民制度、各市人会などと連携した浜田市のPRを問う。

財務部長 ふるさと納税は大変好評であり、提案について市の応援団の増加、交流人口の拡大につながるよう検討したい。

質問 益田家文書とその遺跡の益田市、石見銀山の大田市などに比べ、浜田市の文化財専門職や歴史文化担当職員が少ないが考えを問う。

教育部長 浜田市7名、大田市13名、益田市14名で、浜田市は少ない、資格のある嘱託職員の増員について協議したい。

質問 サロン参加者の固定化、後継者の育成、男性の参加が少ない、交通の便の確保などの要望についての対応を問う。

健康福祉部長 保健師や看護師による健康教室、サロンコーディネータによる運営支援などにより参加者の増加に努めたい。

活かしたい浜田の温泉

専門的知識がある 公的ヘルパーの導入を!

足立 豪 議員

答 将来必要になる 可能性がある

質問 超高齢社会の日本には600万人弱の1人暮らしの高齢者がいて、その半分は生活保護以下の年金しかもらえないという現実がある。超高齢社会に適した行政運営が喫緊に求められている現状を問う。

財務部長 浜田市の1人暮らしの高齢者は約3500人と推計され、このうち生活保護基準額を下回るのは約1800人と見込まれる。

質問 高齢者の市税等の滞納額を問う。

財務部長 市税や保険料の総額で約1億1千万円にのぼる。

質問 我々が生活をしていく上で住宅環境、生活環境は必要不可欠であり、家庭環境及び経済的な理由により、生活が困難になるのを防ぐ意味でも福祉分野も含めて、助言やアドバイスなどができるエキスパート的な公的ヘルパーの導入が必要と考えるがどうか。

健康福祉部長 新しい概念の専門職である「公的ヘルパー」の配置については、中山間地域を多く抱え、過疎化が進行している浜田市においても将来的には必要になる可能性がある。

その他の質問
○公営住宅の連帯保証人確保状況について

一人暮らしの高齢者

U・Iターンの促進と定住化支援について

小川 稔宏 議員

答 起業支援等ニーズに添った支援策を検討する

質問 認知症初期集中支援チームの現状、介護労働者の待遇と問題点について問う。

健康福祉部長 サポート医等は充足していない。介護労働者は低賃金で定着率が低く、イメージアップを図る動きもある。

質問 拘束介護、過剰サービス等のチェックや指導体制について問う。

健康福祉部長 介護事業所に対する研修や指導監査が行われることでチェック体制は確立している。

質問 U・Iターン者への支度金支給制度と起業支援策について問う。

地域政策部長 他自治体事例を参考に定住支援策やU・Iターン者が起業しやすい施策を検討する。

質問 若年女性人口を増やす取組について問う。

地域政策部長 女性の意見を取り入れ、必要に応じて大幅な緩和策や大胆な優遇策を検討する。

質問 子どものための健全な教育環境の維持と道徳の教科化について問う。

教育長 特定の価値観の押しつけや規範意識の徹底だけにならないよう指導に留意する。

質問 財務省の40人学級復活による教員数抑制策に対する認識を問う。

教育長 小人数学級編成によるきめ細かな指導は必要であり賛同できない。

人口減少問題と定住化対策

米依存から脱却し市の農業構造の考えは！

串崎 利行 議員

答 浜田の顔プロジェクトで新たな振興計画を

質問 米価の下落対策について考えを問う。

産業経済部長 農協が創設する「緊急稲作経営安定改善資金」の利子補給をする。実質無利子になる。根本的な米政策の見直しを国に要請する。

質問 多発する熊の目撃に対する対応を問う。

産業経済部長 地域住民の皆さんの不安払拭のため、島根県と連携し、迅速な対応に努める。

質問 新自治区制度は、旧那賀郡4自治区担当の副市長を新たに1人配置で、辺地がさらに衰退すると感じるが考えを問う。

市長 多額の財政負担が必要で止むを得ない。個性を活かしたまちづくりが継続できるよう、各自治区の行事への出席など、できる限り出向いてもらい、地域の声を伝えていただく「橋渡し役」として、活動してもらいたいと考えている。

質問 地域包括ケアシステム構築の取組を問う。

健康福祉部長 介護状態になっても住み慣れた地域で生活を営むよう、団塊の世代が75歳以上を目途に構築する。

その他の質問

○女性農業者と農業振興
○有害駆除の専門職員
○保育料更なる軽減
○高齢者の社会参加を推進する会議を支所へ

弥栄町で捕獲された月の輪熊

訪日外国人観光客の誘客を図るべきでは？

野藤 薫 議員

答 必要性は認識しており広島から誘客を検討

質問 訪日外国人観光客は今年1200万人を超え特に中国、韓国、台湾からの観光客が激増、その消費額も多い。

全国の自治体が誘客を競っているが、浜田市は港や空港、高速道路など条件は良いので、取組が必要ではないか問う。

産業経済部長 9月に再び飛鳥Ⅱが浜田港に寄港し港への関心が高まっている。また、台湾から関空経由LCCで広島ツアーが人気、浜田市へ誘客が可能か検討している。

質問 10月から外国人旅行者に消費税免税制度が緩和され、1人5千円以上購入で免税になる。商店街で購入も多い。浜田市も免税店申請の周知が必要ではないか問う。

産業経済部長 浜田市でも外国人観光客が増加の可能性も有り、免税制度への周知方法など検討する。

質問 指定管理者制度について全施設に占める指定の割合、本来の主旨に沿った運用か問う。

総務部長 指定管理は391施設中161施設の41%である。主旨は民間能力の活用と住民サービスの向上で、経費の節減など仕様書にもとづき協定を締結し、過剰な経費の節減は求めていないと認識している。

免税店の表示（松山市）

政務活動費について

全国的に話題になっている政務活動費ですが、浜田市では条例で定めており、浜田市議会はそれに沿って運用しています。

政務活動費とは？

議員の調査研究、その他の活動に資するために必要な経費の一部として、交付する金銭的給付のことです。

交付額	年額10万円
交付の仕方	年度当初に一括交付
経費の範囲	議員が行う調査研究、研修、広聴、住民相談、要請、陳情、各種会議への参加等市政の課題及び市民の意思を把握し、市政に反映させる活動その他住民の福祉増進を図るために必要な活動に要する経費
収支報告書の提出	政務活動費に係る収支及び支出の報告書を作成し、1円以上全ての領収書等証拠書類を添えて議長に提出
政務活動費の返還	経費の範囲以内で支出した額の総額を控除して残余があるときは、当該残余額を返還

浜田市議会議員は、この政務活動費を利用して、調査研究等を行っています。
※収支報告は浜田市議会HPに掲載しています。

市議会の回数と会期は？

議会には定例会と臨時会があり、このうち臨時会は、必要のある場合に限られた議案についてのみ審議・議決を行うもので、会期も1日～2日がほとんどです。

これに対し、定例会は、地方自治法で「毎年、条例で定める回数これを招集しなければならない。」と定められており、浜田市議会の場合、条例及び規則で定例会の回数は毎年4回、原則として3月、6月、9月、12月に招集されることになっています。

また、会期とは、各定例会等の開会から閉会までの議会が活動能力を持つ期間をいい、原則的には、会期中に議案が可決されない場合、その議案は廃案となります。

定例会の会期は、議会が定例会ごとに開会初日に決めることになっており、昨年は、一番短かった6月定例会で16日間、長かった9月定例会が30日間でした。なお、3月定例会は次年度の予算審査を、9月定例会は前年度の決算審査を行うために時間を要するため、他の定例会と比べると会期は長くなります。

今述べた、定例会の回数や会期について、全国的に数は少ないものの、定例会の回数を1回や2回に減らし、ほぼ一年中を会期にして、緊急時の議会対応の迅速化を図ったり首長の専決を減らして議会活動の充実化を図ろうとする、通年議会や通年会期制の取組が始まっており、浜田市議会でも、議会改革推進特別委員会で調査・研究中です。

議会からのお知らせ

議会を傍聴しませんか？

浜田市議会では、市民に開かれた議会の実現のため、本会議、委員会での議論の内容を原則公開しており、誰でも傍聴できます。

本会議、委員会の傍聴を希望される方は、市役所５階の議会事務局（エレベーターを出て右側）で傍聴手続きを済ませてから傍聴してください。（会議予定、協議事項は議会HPで確認できます）

市の重要事項から身近な問題まで、本会議場での執行部との真剣なやりとりをぜひ傍聴してください。

議場を見学することもできます。
くわしくは事務局までお問い合わせください。

傍聴にあたり、飲食、喫煙をしないこと等、何点か守っていただく事項があります。

★この議会だよりは1部あたり37・1円でできています。

あとがき

平成26年は高円宮典子さまと出雲大社の千家国麿さんのご結婚で、全国の注目が島根に集まりました。

浜田市ではテニスの錦織選手が全米オープン準優勝後の会見で「ノドグロが食べたい」と発言し、ノドグロが高騰、品薄になる出来事も起きました。また、ノーベル物理学賞を受賞された天野教授の奥様が浜田市出身という事でも注目が集まり、その影響か、ふるさと寄付は平成25年度を大きく超えて６億円を達成しました。

本年は新浜田市の誕生から10年を迎えます。山積する課題に対し、議員一同、より良い浜田市になるよう、さらなる議論を重ねてまいります。

（記　野藤　薫）

【編集委員】

田畑　敬二　委員長
笹田　卓　副委員長
足立　豪　委員
柳楽真智子　委員
森谷　公昭　委員
野藤　薫　委員
布施　賢司　委員
岡本　正友　委員
澁谷　幹雄　委員
牛尾　昭　委員

〔議長なんでもメール〕　議長や市議会に対するご意見・ご要望・ご提言などお気軽にお寄せください。
浜田市HP→浜田市議会HP「議長なんでもメール」まで